



兵庫県議会議員

五島 壮一郎  
ごとう そういちろう

SOICHIRO HYOGO REPORT

県政  
報告

令和4(2022)年 夏号

編集・発行：五島壮一郎事務所

〒671-1111 姫路市広畑区北河原町 18-1

TEL：079-239-5841

FAX：079-236-2282

mail：info@s-goto.com

HP：http://s-goto.com 公式HP・QRコード

https://www.facebook.com/goto.soichiro.510



## 躍動する兵庫へ 播磨人の底力を示す!



日ごろより兵庫県政・県議会に、ご理解とご協力を賜り、改めて心から感謝申し上げます。世界的な激動期の中、新しい時代に相応しい県政を進めていくため、昨年4月に志を同じくする県議会議員と共に「自民党兵庫議員団」を結団いたしました。そして、20年振りに知事が交代、新しい兵庫の創生へ、思いを共有する齋藤元彦知事が就任、新県政がスタートし、8月で1年を迎えます。齋藤知事は就任以降、新型コロナウイルス感染症対策を最優先に、医療現場などを訪問、直接聞いた意見を踏まえ、状況に応じた対策をスピード感をもって展開されています。県政の両輪である県議会として、これまで以上に是々非々の緊張感ある関係で、前向きかつ建設的な議論を展開しています。

令和4年度がスタートしましたが、ロシアのウクライナ侵略、その影響等による原油価格・物価高騰など先行きが見通せない状況が続いています。私たちのふるさと播磨・姫路は古代から栄え、近代では兵庫、日本の発展を支えてきました。困難に立ち向かい、平和を希求し、新しい道を突き進んできたのが播磨人と親や地域の方々から教えられてきました。激動期の今、地域を代表する議員の一人として、ふるさとへの誇りを強く持つて、今後とも地域に根付き、現場主義に徹して、県民の皆様の声を県政に届けます。

暮らしの安全安心、躍動する兵庫の実現に、齋藤知事と共に果敢に挑み、誠心誠意努力して参ります。一層のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

## 自民党兵庫・政務調査副会長として県民の声を政策化

昨年4月、自民党兵庫議員団・政務調査副会長を拝命いたしました。山口晋平政調会長を補佐し、各種団体からいただいた要望や、議員団のメンバーそれぞれの地元課題、意見を政策としてまとめる重要な職務に日々、励んでいます。

特に、齋藤知事が初めて手がける令和4年度当初予算に対して、知事をはじめとした県当局に重要政策提言、申し入れ等を議員団として行い、予算案は令和4年2月第357回定例県議会での審議を経て可決しました。予算化を求めた政策も数多く事業化され、県政与党派の政調副会長としての責務を果たすことが出来ました。

また、齋藤知事就任後、初の議会との論戦の場となる令和3年9月第355回定例県議会、今年度最初の6月第358回定例県議会において議員団を代表して質問に立たせていただき、新県政の基本姿勢などについて伺いました。概要を2～3面に掲載していますので一読ください。



令和4年度予算編成で齋藤知事に政策提言

### 令和4年度県当初予算

～人・モノ・投資を呼び込む～

令和4年度県当初予算は、行財政運営方針を見直した「県政改革方針」に基づき、「躍動する兵庫へ～第一歩を踏み出す」ことを基本方針に編成されました。予算規模は総額で約4兆2,482億円、対前年度比で7.8%減となりました。

新型コロナへの対応を第一に、●新しい成長の種をまく

●地域の価値を高める ●安全安心の網を広げる

この3つの視点により、新たな価値を生む経済の構築、安全安心社会の先導、未来を創る人づくり、個性を磨く地域づくり、県政運営の改革を重点に施策展開を図っていきます。主な施策は2～4面に掲載しています。

### 原油・物価高騰で緊急対策・補正予算

地域経済・生活の安定を支援

原油価格・物価高騰に対応して、兵庫県は緊急対策として令和4年度6月補正予算案を編成し、6月1日に開会した第358回定例県議会に上程、閉会日の9日、原案通り可決しました。予算規模は一般会計で142億5200万円です。

売上が減少した中小法人・個人事業主や燃油価格高騰の影響を受ける公共交通等事業者、クリーニング店など生活衛生事業者等に一時支援金を支給。農林水産業者に対しても必要な支援を実施。県民生活の安定化に向けては、生活困窮者・子育て世帯・ヤングケアラー・大学生等への支援を強化。ウクライナ避難民への生活支援を行います。

# 令和3年9月第355回定例県議会 代表質問

## 「わくわくする、わかりやすい、わかわかしさ」 三つの「わ」で新しい時代の県政運営を

### 兵庫県政における齋藤知事の基本姿勢

**五島** 齋藤知事が担う新しい時代の県政運営には、「わくわくする、わかりやすい、わかわかしさ」の三つの「わ」で展開されることを期待しています。そこで、「躍動する兵庫」をつくりあげるため、その理念および基本姿勢について伺います。

**知事** 大切なのは新たな挑戦。伸びやかな試行錯誤を繰り返し、新時代を切り開くことが「躍動する兵庫」の理念。議員ご指摘の三つの「わ」は、私の県政の基本姿勢と軌を一にするものです。共に「躍動する兵庫」を目指します。

### 自然増に向けた不妊治療対策の充実、理解促進策

**五島** 不妊治療の支援強化や相談体制の充実、さらに男性不妊の理解促進など、県の不妊治療対策は？

**知事** 不妊治療への男性の理解促進、夫婦で検査を受けた場合に費用を助成する不妊治療ペア検査助成事業を開始しました。安心して不妊治療に取り組んでいただける対策を推進します。

### 観光分野での近隣府県と連携した兵庫の魅力発信

**五島** 観光分野で近隣府県と連携を行い、兵庫の魅力発信をしていくことが重要。新たな観光戦略は？

**知事** ポストコロナの観光は本物・体験志向が重要。和牛や酒など兵庫にしかない本物を打ち出し、近隣府県と連携した観光戦略を展開し、兵庫に一番、来訪してもらえる仕組みづくりを検討します。

### 農林水産業の流通・消費の拡大など今後の展開

**五島** 持続可能な農水産業を展開していくためには、流通・消費を拡大することが必要です。今後の農林水産業の展開策を伺います。

**知事** 消費者の意識、購買行動の変化をしっかり捉え、都市近郊の強みを生かした取り組みを官民連携で推進します。



### 安全・安心を支える社会基盤の推進

**五島** 地域創生の基本条件は安全・安心な生活の確保であり、県土の強靱化の取組が不可欠です。その基礎となる社会基盤整備の方針は？

**知事** 事前の防災対策の加速化と、早期に復旧するための基幹道路のネットワークの強化等に取り組めます。

### 社会基盤施設の信頼性・快適性の確保

**五島** 行政は将来にわたり各施設の機能が維持できるよう、計画を立て、必要な予算の安定的確保に努める義務があります。社会基盤施設の老朽化対策、日常の維持管理についての現状認識と課題は？

**副知事** 適切な維持管理と計画的な老朽化対策に取り組んでいます。予算確保が重要で国に対して引き続き求めます。

### ICTの活用など新しい時代に対応した学びの推進

**五島** ICTを活用など新たな時代に対応した教育策は？

**教育長** ICTの強みを生かし、一人ひとりの習熟の程度に応じた個別最適な学びの環境づくりを目指してまいります。

## 令和4年度主要事業に 政策提言が予算化される

令和4年度、さまざまな事業が実施されますが、市民の皆さまからの声を踏まえ、自民党兵庫議員団としての要望や令和3年9月第355回定例県議会で提言し、具体化した主な施策を紹介いたします。

## 県民の声を形に、夢や希望を前に進める。

- 地域経済の活性化・地域の元気づくり
  - 中小企業者等の事業継続への支援強化や持続的な観光需要の喚起を図るとともに、農林水産業の生産基盤・輸出力等を強化
- 県民生活の安定化に向けた支援
  - 生活困窮者の多様なニーズへの対応強化や、問題を抱える妊産婦への支援等を強化
- 高齢者等への介護支援の取組強化
- 不妊治療を行う方への支援促進 [県議会代表質問で提言]
- 中小企業等における経営改善・成長力強化への支援
- 近隣府県との連携を広げる観光戦略の策定 [県議会代表質問で提言]

- 県産農林水産物流通・販売の拡大 [県議会代表質問で提言]
- 県産農作物の生産拡大に向けた取組強化 [県議会代表質問で提言]
- 警察活動の充実強化
- 地域における交通安全対策の強化
- スマートシティモデル事業の実施
- 県民局・県民センターにおける地域躍動推進事業の実施
- 基幹道路の整備促進、社会基盤等の強化 [県議会代表質問で提言]
- ひょうごリーディングハイスクールの推進
- 学校問題への総合的な支援
- 災害に強い県土づくりの推進 [県議会代表質問で提言]
- 避難行動要支援者のための個別避難計画の作成促進

## 「県政改革方針」策定 財政「見える化」 県民本位の行革へ

行財政運営方針を見直した「県政改革方針」は、持続可能な行財政基盤の確立を目的としています。行財政運営の前提条件となる財政フレームは、経済成長率をより堅実に見込み、財政状況をより分かりやすくし、県財政の「見える化」を図りました。令和10年度まで約140億円の収支不足が生じますが、単なる歳出削減型の見直しではなく、未来志向の事業や時代に即した改善の方向性を示すなど、**ビルドを重視した改革**を進めます。

**ビルドを重視した**新たな取組としては、県民の安全・安心に直結し、道路や河川の日常の維持修繕を担う**県単独事業を20億円増額**しました。自

## 自民兵庫議員団 の要望が実現！ 安全・安心に直結 県単投資事業 を20億円増額

民党兵庫議員団が県民の安全や暮らしに直結し、必要性を実感できる事業については着実に実施していくべきと、要望していたものです。

**姫路土木事務所管内においても、住民の方から要望を受けていた道路の区画線の補修および除草、河川事業では堤防の除草などを実施**します。

齋藤知事の公約である「守るべきものは守り、変えるべきものは変える」取り組みであり、県民の声を私たち議員が伝え、予算化されました。今年度からは事業評価・施策改善を図る**事業レビュー**を導入・公表し、**県政の透明性を高め**、**不断の改革**に取り組んでいきます。

# 令和4年6月第358回定例県議会 代表質問

## 原油・物価高騰への応急支援を実施し、躍動する兵庫の基盤となる地域経済の活性化を

### 「躍動する兵庫」に向けた新体制での県政運営

**五島** 4月から組織体制を刷新し、5部から12部体制への見直しが行われ、部長のマネジメント力と官房機能を強化されました。新体制によって「躍動する兵庫」を形作る各種施策をどう展開されるのか伺います。

**知事** 原油価格・物価高騰に対応した補正予算の編成では、各部長マネジメントのもと、事業者や生活者に対する各種の事業が立案され、県独自の支援策を迅速に取りまとめることができました。職員一人ひとりが現場の課題を吸い上げ、自ら考え、創意工夫をして対応することを求めています。その姿勢が、兵庫の未来を形づくると考えています。



### 兵庫県における人口減少の抑制対策

**五島** 人口減少は待ったなしの課題であり、より一層の危機感を持って対応していくべきです。今後、どのような体制でどのような施策を展開し、県の活力を維持していくのか伺います。

**知事** 今年度、作業を進めている地域創生戦略の中間見直しでは、人口減少対策の更なる強化が議論の中心です。各地域がポテンシャルを発揮し、従来の発想にとらわれることなく、実効性ある戦略を立案、推進することで、人・モノ・投資、そして情報と呼び込む兵庫づくりを目指してまいります。

### 妊孕(にんよう)性に関する知識教育

**五島** 女性は年齢が増加すると妊孕性(妊娠する力)が低下します。学校現場でこの妊孕性について学ぶ機会を設ける事が大切であり、正しい知識を身につけることが、個人にとっても社会にとっても有益です。そこで、高校の授業でどのように扱われているのか伺います。

**教育長** 高校生に対しては、保健の授業において、結婚生活と健康、家族計画と不妊治療等の学習を行っており、妊孕性や不妊についても扱っています。また、教職員の研修会においても、今年度は不妊リスクや不妊治療等をテーマに実施し、児童生徒の理解促進、普及啓発の充実に生かしてまいります。

令和3年4月【5部】	再編	令和4年4月【12部】
企画県民部	⇒	総務部
		企画部
		財務部
		県民生活部
		危機管理部
健康福祉部	⇒	福祉部
保健医療部		
産業労働部	⇒	産業労働部
農政環境部		農林水産部
県土整備部	⇒	環境部
		土木部
		まちづくり部



### 原材料価格の高騰など地域経済・雇用情勢と今後の対応

**五島** 原材料価格の高騰、急激な円安の進展により、今後の日本の経済活動全体への悪影響が懸念されます。そこで、本県の経済・雇用情勢の今後の見通しと応急支援策、躍動する兵庫の基盤となる本県地域経済の維持と活性化への取り組みは？

**知事** 本県の経済は厳しい状況にあり、原油・原材料価格高騰対策として、最大30万円の一時支援金で下支えを行います。兵庫県はあらゆる産業が数多く集積しており、これに対応した活性化策に取り組みます。ポストコロナでは、変化を恐れず、果敢に挑戦を続けた先に、成長への道が開かれます。経済団体、企業との総力戦で、難局を乗り越え、力強い経済と安定した雇用の実現を目指します。

### 食料危機に備えた兵庫県の食料安全保障対策

**五島** 原材料価格の高騰は、特に家計に打撃を与えています。ロシアとウクライナは世界有数の小麦生産国であり、戦争が長期化し、世界で小麦の奪い合いが起これば、代替となる他の穀物にも波及することが予想されます。食料危機への備え、食料安全保障について県も危機感をもって取り組むべきです。

**知事** 小麦の生産拡大に向けて、収量、機械や施設の導入支援のほか、輸入依存度が高い麦、大豆、飼料用米の供給体制の強化も進めてまいります。兵庫県は、関西でも屈指の農林水産製品の生産圏であり、地域の農林水産業の基幹産業化を力強く推進していくことで安定的に食料を提供していく環境づくりを目指します。

### 脱炭素社会に向けた播磨地域での基盤整備の推進

**五島** 県は今年度、姫路港を中心とする播磨臨海地域においてカーボンニュートラルポート形成計画の策定に着手することとしていますが、その内容について伺います。さらに、播磨臨海地域道路等の基幹道路を早期に完成できればカーボンニュートラルを推進し、本県経済社会活動の活性化につながる物流ネットワークを構築できると考えますが所見を伺います。

**知事** 計画には立地企業のCO2排出量、それを削減するための方策、必要な水素などの供給目標、そして2050年に向けたロードマップを位置付けてまいります。来年半ばの計画策定を目指しています。今回のカーボンニュートラルの取組が、播磨地域全体、さらには播磨臨海地域道路の整備の促進の早期化に向けても力強い動きになることを目指し進めてまいります。

### 若年層を犯罪から守る取組の強化

**五島** 本年4月、成人年齢が18歳に引き下げられました。社会的責任を負うこととなりますが、経験・知識が乏しいためトラブルに巻き込まれる可能性があります。近年、若年層がアルバイト感覚で特殊詐欺に加担し、逮捕される事件の報道をよく目にします。そこで、若年層を犯罪から守るための対策は？

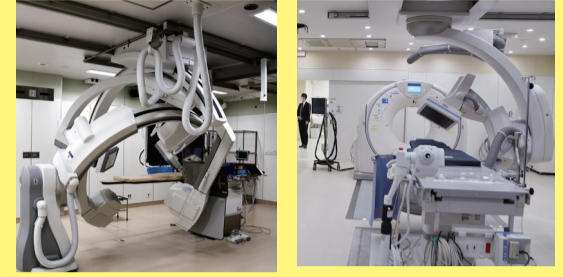
**警察本部長** サイバーパトロールを実施し、特殊詐欺の受け子の募集等、不適切な投稿に警告メッセージの送信を行うなどSNSを通じた被害防止や犯罪への加担防止に努めています。さらに、補導活動など非行や被害の前兆段階で目を摘む活動も行っています。関係機関と緊密に連携し、対策を強化します。



本会議場で会派メンバーと共に齋藤知事と意見交換

# 県立はりま姫路総合医療センターが開院

県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院が統合再編した「兵庫県立はりま姫路総合医療センター（愛称：はり姫）」が5月1日に開院しました。播磨姫路圏域の人々の命を救い、守る拠点として、高度専門・急性期医療の提供や、医師不足の解消につながる新病院となるよう求めてきましたが、多くの方の希望、期待に叶う新病院となっています。



## 命を救う、守る。播磨姫路圏域の中核的医療機関

病床数は736床で県立病院としては最大規模。両病院が行ってきた循環器疾患医療、救命救急センター機能などを継承・発展させるとともに、一刻を争う事態に対する三次救急機能が一体化したことによって、幅広い疾患に対応する救急医療が可能になりました。また、播磨姫路圏域は過疎地域や離島を含む広大なエリアで、医師数が少ないことが大きな課題でしたが、医療人材の育成拠点としての機能を充実、将来の活躍が期待される医師・医療従事者が集まるリーディングホスピタルとして期待されています。

## 中播磨県民センター 令和4年度主要事業 多様な地域に、個性が輝く中播磨

- 豊かな地域資源を活かした中播磨の魅力アップ
  - ・中はりま食文化の発信
  - ・播磨のさかなとブルーツーリズム支援事業
- 姫路港の賑わいづくりと利活用
  - ・観光クルーズ客船の誘致強化
  - ・姫路港旅客ターミナルエリアリニューアル
- 中播磨のものづくり力の強化
  - ・高校生のための起業セミナー
  - ・中播磨地域SDGs力強化プロジェクト

- 農林水産業の生産振興
  - ・中はりま農業パワーアップ作戦
  - ・水産資源を守り育てる増殖場の整備
- デジタル化の推進
  - ・市町連携による業務のデジタル化の推進
- 地域ぐるみで支え合う健康な暮らし
  - ・小児救急医療・適切な受診行動の促進
  - ・地域包括ケアシステムの構築支援
  - ・地域を支える看護人材の確保

- 災害時における医療提供に関する情報伝達訓練・研修事業
- 安全安心な暮らしの推進
  - ・災害に強い社会基盤整備の推進
  - ・老朽化対策の推進
  - ・地域ぐるみの安全対策事業
  - ・安全安心な消費生活の推進
- 中播磨の豊かな自然の保全と共生
  - ・中播磨フードドライブの実施

## 交流促進、地域経済の発展、地域創生の加速化へ 着々と進む道路ネットワーク整備

### 【播磨の中心市街地(姫路市)の骨格道路網形成】

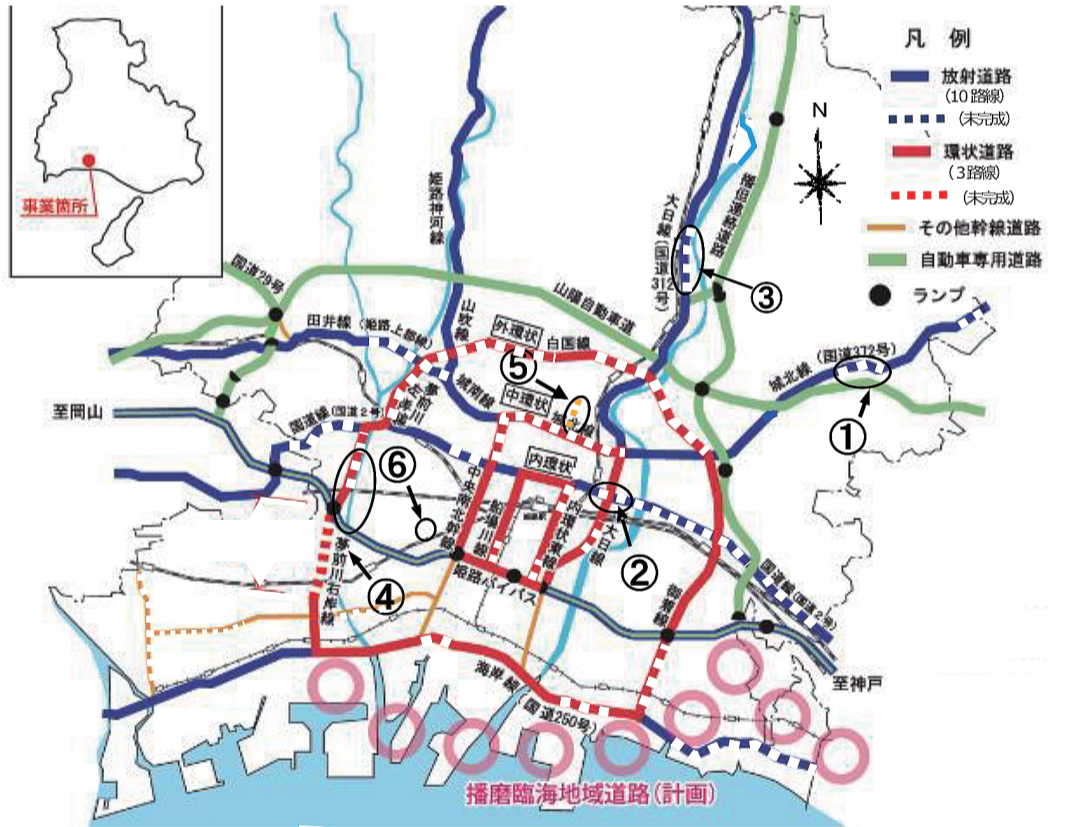
- ・372号[城北線](姫路市飾東町八重畑～山崎) 1.65km H20～R4 図-①
- ・国道線[姫路東工区](姫路市東郷町～神屋町) 0.96km H26～R7 図-②
- ・312号[砥堀][大日線](姫路市砥堀) 0.32km H28～R10 図-③
- ・広畑青山線[夢前川右岸線](姫路市広畑区才～西蒲田) 2.3km H13～R7 図-④
- ・城東線[河間工区](姫路市河間町) 0.47km H27～R6 図-⑤
- ・荒川線[井ノ口工区](姫路市井ノ口) 0.16km H29～R4 図-⑥

### 【日常生活や地域を支える道路整備】

- ① 渋滞交差点の解消・緩和
  - ・広畑青山線・京見橋西詰(広畑青山線南行き L=250m) H13～R7
  - ・広畑青山線・八幡小前(市道八幡35号線東行き L=300m) H13～R7
  - ・太子御津線・JR網干駅前(太子御津線北行き L=250m) H23～R7
  - ・田寺今在家線・棚田(田寺今在家線南行き L=350m) H29～R9
  - ・大江島太子線・下太田(大江島太子線北行き L=350m) H31～R5
- ② 駅へのアクセス道路の整備
  - ・太子御津線(姫路市網干区高田) 1.2km 立体交差(JR網干駅) H23～R7
- ③ 歩行者・自転車の快適な通行空間の確保
  - ・石倉玉田線(姫路市書写) 0.2km 歩道(W=2.5m) H29～R5
  - ・姫路神河線(姫路市夢前町山富) 0.8km 歩道(W=2.5m) H27～R5
  - ・和久今宿線(飾磨区山崎台～付城) 1.2km 自転車レーン H30～R5

### 【地方部の道路整備の推進】

- ・宍粟香寺線(姫路市安富町狭戸) 0.2km バイパス H29～R6



【3環状10放射道路構想図】

## Topics 代表質問の現場から

国の掲げる2050年カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けて、国・県・市および経済界の協力が必要になります。姫路市はこの度、2050年までに二酸化炭素の実質排出ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。県は今年度、姫路港を中心とする播磨臨海地域において、カーボンニュートラルポート形成計画の策定に着手します。その拠点となる姫路港は、安定供給可能な

エネルギー源として注目されている液化天然ガス(LNG)の輸入量が国内4位、西日本1位、背後圏の播磨臨海地域は全国第2位の製造品出荷額であり、姫路港臨海部の発電量は瀬戸内港湾でトップなど水素受入基地立地の高い優位性をもっています。

昨年春には姫路市内で水素ステーションが開所しました＝写真。一層市民への関心が高まり、官民連携により取り組みが進むよう地元県議としても努力して参ります。



昭和59年6月生まれ  
姫路市立広畑小・中学校、県立姫路東高等学校(55回生)、岡山大学工学部卒業、電気機器メーカーに勤務  
兵庫県議会議員初当選(平成27年)  
現在2期目

## 五島壮一郎 プロフィール

【主な経歴】兵庫県議会農政環境常任委員会及び産業労働常任委員会副委員長、兵庫県議会自民党議員団副幹事長

【現在】兵庫県議会自民党兵庫議員団政務調査副会長  
兵庫県議会警察常任委員会委員  
兵庫県早朝野球連盟会長、兵庫県相撲連盟会長、吟道摂楠流姫路地区連合会相談役 など